

災害ケア論

ナンバリング:N1-S1-J01

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師		
担当講座・学科(分野)	看護学部、共通基盤看護学講座、救急・災害医学講座		
対象学年	1	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

2011年3月11日、東日本大震災は岩手県沿岸全域で津波災害をもたらし、内陸部は被災地支援を展開するなど県民全体が災害を自分のこととして意識するような出来事となった。今現在も多くの方が震災の影響で悩み苦しんでいる。これまでも大きな災害が、そしてこれからも災害が頻繁に生じるであろう状況下にあつて、被災を受けることは生活に心身にどのような影響を与えるのか、看護職者としてどのような災害支援ができるのか、その基礎を学ぶ。最後に自分たちで、机上で避難所運営を行い、共有する場を持つ。
--

・教育成果(アウトカム)

災害の歴史、定義、種類、関連する制度、さらには、災害看護の歴史を学ぶことで、災害看護を学ぶ意味を理解するとともに、災害サイクル各期の特徴と健康問題、災害が人々の健康に及ぼす影響、災害時に看護が果たす役割について説明できるようになる。	
【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SBO)

1. 過去の災害について学び、災害の種類や災害サイクルおよび各期の看護について説明できる。 2. DMATの統括者から事例を交えて学び、地域防災計画、支援体制および災害時の医療救護活動の基本であるCSCATTTや災害時の医療救護活動のフェーズ(災害サイクル)各期の医療チームについて説明できる。 3. 災害支援ナースや仮設住宅支援活動の事例を学び、被災者、救護者のストレスと心のケアについて説明できる。 4. 避難所運営についてのグループワークに参加し、要配慮者、避難行動要支援者を含めた避難所における生活への援助、身体的・精神的な健康管理の方法を修得できる。 5. 過去の災害が人々の健康に及ぼした影響、その時看護が果たした役割について調べ、災害周期の変化に対応しながら多職種、地域の人々との連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続する必要性について記述できる。
--

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室、西1-B講義室、マルチ2A実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
6/3 (火) 2限	【授業内容】災害発生に備えた心構え、災害とは、災害の定義、災害看護の特徴について ・過去の災害事例を踏まえ、災害発生に備えた心構えをもつことができる ・災害の定義、災害サイクルについて学び、地域防災、防災とSDGs及び災害看護の特徴について述べるができる 【関連するSBO】1 【事前学修：60分】教pp.333-338を読む 【事後学修：120分】災害の定義、防災とSDGs及び災害看護の特徴についてまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
6/9 (月) 3限	【授業内容】災害医療とは ・過去の災害事例を踏まえて災害医療について学び、災害医療のポイントをあげることができる 【関連するSBO】1、2 【事前学修：60分】阪神淡路大震災、東日本大震災、平成28年台風10号災害(岩泉)で行われた医療活動について調べる 【事後学修：120分】災害医療のポイントをまとめる	救急・災害医学講座 真瀬 智彦 教授
6/10 (火) 2限	【授業内容】災害看護の歴史、過去の災害からの教訓 ・阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件について学び、過去の災害から災害医療や看護がどのように発展していったのかを述べるができる 【関連するSBO】1、5 【事前学修：60分】地下鉄サリン事件について調べる 【事後学修：120分】災害看護の歴史、災害から得た教訓についてまとめる	看護学部 三浦 まゆみ 非常勤講師
6/17 (火) 2限	【授業内容】災害サイクルから見た看護-主に急性期-医療施設における初動、スタートリアージについて ・急性期における看護のポイントをあげることができる ・事例においてスタートリアージによる判定ができる 【関連するSBO】1 【事前学修：60分】教pp.340-343を読む、6/10の講義資料からスタートリアージについて復習する 【事後学修：120分】急性期における看護のポイント、スタートリアージについてまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
6/24 (火) 2限	【授業内容】災害サイクルから見た看護-主に亜急性期-避難所、災害時要援護者、災害支援ナースについて ・災害支援ナースの活動事例を通して避難所での被災者の健康問題を理解し、看護のポイントをあげることができる ・災害時要援護者について理解し、必要な配慮について述べるができる 【関連するSBO】1、4 【事前学修：60分】教pp. 343-346を読む、能登地震での避難所の実態および災害支援ナースの活動について調べる(6/24 授業内で学生同士で共有する) 【事後学修：120分】避難所での看護、災害時要援護者への配慮についてまとめる	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
7/1 (火) 2限	【授業内容】災害サイクルから見た看護-中・長期-仮設住宅・地域ケア、こころのケアについて ・仮設住宅及び被災地域における看護のポイントをあげることができる 【関連するSBO】1、3、5 【事前学修：60分】教pp.346-348を読む 【事後学修：180分】過去の災害から1つの災害をとりあげ、災害の概要、健康課題としてどのようなことがあり、どのような支援が行われたかについてまとめ、そのうえで、自身が関心をもった事柄を取り上げて自分の考えを記述する(A4・1 ～2 枚、7月14日17時までWebClassへ提出)	看護学部 三浦 まゆみ 非常勤講師
7/8 (火) 2限	【授業内容】-グループワーク- 様々な避難者の例を基にした避難所における看護支援 ・小グループで避難所における災害時要配慮者を含めた避難者への配慮について学びを共有し、避難所のイメージを広げることができる 【関連するSBO】4 【事前学修：60分】避難所にはどんな方々が避難して来ると想定されるか、災害時要援護者を含めた5名の例や、避難所で必要な配慮について所定の用紙に記入する(7月8日授業時に提出) 【事後学修：180分】グループ毎に、避難所にはどんな方々が来ると想定されるか、災害時要援護者を5人以上含めて20名の例を所定の用紙に記入し、その20 名をどこへ案内するかを避難所の図面に配置する(7月14日授業開始時まで提出)	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師

7/14 (月) 3限	【授業内容】-グループワーク-避難所運営についてのグループ発表及び看護のまとめ ・自他のグループ発表からの学びを、避難者の特徴に応じてまとめることができる 【関連するSBO】4、5 【事前学修:60分】過去の災害における、避難所での要援護者への配慮について調べる 【事後学修:300分】全8回分の授業及びグループワークで学修した内容を復習する	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師
-------------------	---	-----------------------

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 基礎看護学[1]看護学概論第17版	茂野 香おる	医学書院	2020
参	系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践 災害看護学・国際看護学 第5版	庄野泰乃	医学書院	2024
参	災害看護改訂第4版	酒井明子, 増野園恵	南江堂	2023
参	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護 第5版	酒井明子	メディカ出版	2022

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験70%、事前学修10%、グループワークのまとめ・発表10%、レポート10%。 【形成的評価】コメントペーパーを用いた講義毎の振り返りシートで理解度を確認する。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 講義毎のコメントペーパーにおける質問に対し、次の授業または WebClassにてフィードバックする。 事前学修、グループワークのまとめ・発表、レポートについて、事前に学生に提示する評価基準に基づき評価する。 【その他】 問題を学生同士で考える時間を設け、全体及び個々の説明を深める。 能動的な学修のため、スマートフォン等を用い、双方向性型授業ツールとしてアクティブラーニングツール「Slido」を利用する。 講義資料や課題に関する資料等は、授業で配布する他、WebClassにもアップする。 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 看護師(別表3):専門分野 看護の統合と実践 【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 統括DMAT・災害医療コーディネーターとして災害現場での実務経験を有する教員、いわてDMAT看護師として災害訓練及びいわてDMAT隊員養成研修等での実務経験を有する教員、看護師として災害現地調査・支援活動の実務経験のある専門家が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン	1	講義資料の作成等
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	パソコン	1	講義資料の作成等
講義	トリアージ・タッグ 訓練用	100	記載方法の学修
講義	DVD/リアルに再現！災害時の保健医療と看護・病院における災害対応	1	災害初動の学修
講義	DVD/プロジェクトX 挑戦者たち 地下鉄サリン 救急医療チーム 最後の決断	1	化学災害の学修
講義	DVD/目で見える災害看護・災害時の地域における医療・看護	1	避難所対応の学修